

レブラス®

エア－粒剤 散布マニュアル



AVH-301



多年生雑草に強い!
「アルテア」増量配合*

*アルテアはメタソスルフロンの愛称です。 *当社「アルテア」配合一発剤との比較。 ®は登録商標

あのレブラスが、ドローンで撒ける! 「エア一粒剤」ついに登場!

ホタルイ、ノビエ、クログワイ、オモダカ……。問題雑草の取りこぼしも、難なく一掃!
プレミアム中後期除草剤レブラスから、ドローン向け「エア一粒剤」がついに登場!

●ミズアオイ、クサネム、コナギ、イボクサなどの主要雑草もしっかり枯らします。



登録番号：第24221号
有効成分：ジメタメトリン …… 2.5%
 ダイムロン …… 25.0%
 テフリルトリオン …… 7.5%
 メタゾスルフロン …… 3.0%
容 量：1.2kg入(30アール分)

水稲用 中後期除草剤

レブラス[®] エア一粒剤

雑草が大きくなってしまっても、レブラスならしっかり枯らせます。

特長

- 除草成分「アルテア」*を増量配合*! 殺草力がアップ。
- 枯れ残って大きくなってしまった雑草もしっかり枯らします。
- ドローン散布に適した自己拡散型の製剤です。
 - ・幅30mまでは圃場の中央に散布するだけで拡がるので作業時間を短縮できます。
 - ・ラブに撒いても拡がるので飛行ルートを気にする必要ありません。



多年生雑草に強い!
「アルテア」増量配合*

ドローンによる散布法

● 圃場周辺への飛散防止と薬剤を十分拡散させるために、以下の条件を守って散布してください。

〈散布条件〉

飛行高度：2～3m
風速：3m/秒以下
畦畔からの距離：10m以上
水深：5cm以上

〈散布幅〉

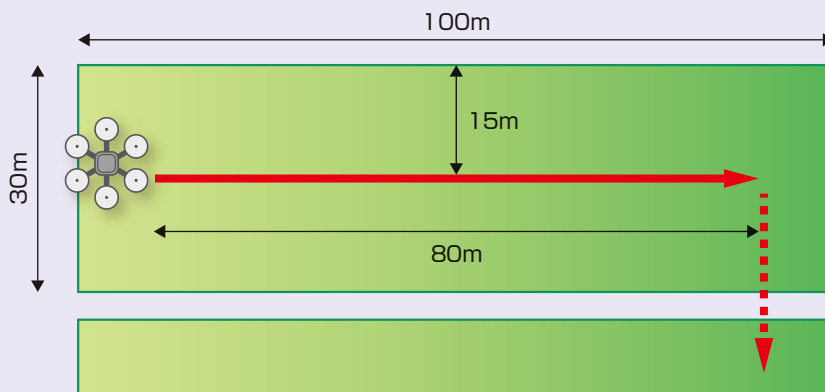
30m以下*
(片側15mまで拡散します)

*藻、浮草、表層剥離が発生している場合は適宜、散布幅を狭めてください。

● 推奨散布方法

機体	散布装置	飛行速度	インペラ回転数	開度 (ポリウム)	吐出時間 秒/10a	散布距離 m/10a	散布幅	30×100m圃場の飛行ルート
AGRAS T10 AGRAS T25 AGRAS T30	GS110(T) GS440(T)	15km/時	600 rpm	23.5%	6.4	26.7	30m以下 (片側15m以下)	圃場中央 片道1回(80m)
MG-1 MG-1K T-20 T-20K	GS110 GS110K GS220 GS220K			40%	19.2	80.0		圃場中央 1.5往復(240m)
AC101connect AC102	AC101 P13		遅	59%	12.8	53.3		圃場中央 1往復(160m)
YMR-08 YMR-II	GR1-10 標準ローラー		固定	95	25.6	106.7		圃場中央 2往復(320m)
	GR1-10 ひし形ローラー			60	19.2	80		圃場中央 1.5往復(240m)
ZionAC940 MMC940AC ZionAC1500 MMC1500AC	ZIN700P ZIN1400G	4.8	25.6	106.7	圃場中央 2往復(320m)			

● 飛行ルートの例 例)30aの圃場(30×100m)を中央片道散布する場合



薬剤は15mまで拡散しますので、幅30mの圃場であれば中央片道散布が可能です。1往復以上の飛行で散布する場合は中央散布以外でも問題はありませんので、隣接田を続けて散布する場合などは適宜散布幅を調整してご使用ください。

● 散布距離と飛行速度から吐出量を調整する場合

① 吐出量を決める

1分当たり、何gの薬剤を吐出させるかを以下の手順で求めます。

$$\text{吐出量 (g/分)} = \frac{\text{処理量 (g)}}{\text{散布距離 (m)}} \times \text{飛行速度 (m/分)}^\#$$

#10、15、20km/時=167、250、333m/分

例) 40a圃場(40×100m)を15km/時で散布する場合

1往復・・・吐出量=1,600g÷160m×250m/分=2,500g/分
1.5往復・・・吐出量=1,600g÷240m×250m/分=1,666g/分
2往復・・・吐出量=1,600g÷320m×250m/分=1,250g/分
2.5往復・・・吐出量=1,600g÷400m×250m/分=1,000g/分
3往復・・・吐出量=1,600g÷480m×250m/分=833g/分

② シャッター開度を調整する

①で決めた吐出量に合わせたシャッター開度に調整します。各散布装置の吐出量目安表を参考に調整してください。なお、往復回数は少ない方が効率的ですが、各散布装置には

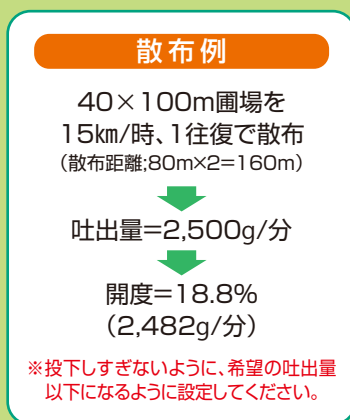
吐出量の上限があるので、吐出目安表に希望する吐出量がなければ、往復回数を増やすことで吐出量を減らして開度を決めてください。

吐出量目安表と散布例 ※「目安表」ですので、必ず試し撒きを行った上で、調整してください。

機 体 ; ■ AGRAS T10, T25, T30
 散布装置 ; ■ GS110(T), GS440(T) (DJI)

最大積載量 ● GS110(T) : 1.2ha分

開度	吐出量g/分	面積換算a/分	開度	吐出量g/分	面積換算a/分
17.5%	2,143	53.6	23.0%	3,608	90.2
18.0%	2,273	56.8	23.5%	3,745	93.6
18.5%	2,404	60.1	24.0%	3,882	97.1
19.0%	2,535	63.4	24.5%	4,021	100.5
19.5%	2,667	66.7	25.0%	4,159	104.0
20.0%	2,800	70.0	25.5%	4,298	107.5
20.5%	2,933	73.3	26.0%	4,438	111.0
21.0%	3,067	76.7	26.5%	4,579	114.5
21.5%	3,201	80.0	27.0%	4,720	118.0
22.0%	3,336	83.4	27.5%	4,861	121.5
22.5%	3,472	86.8	28.0%	5,004	125.1



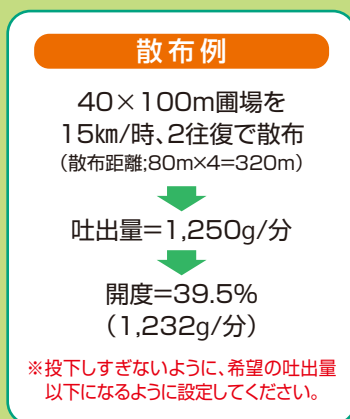
※インペラ回転数を600rpmに設定した場合

機 体 ; ■ MG-1, MG-1K, T20, T20K
 散布装置 ; ■ GS110, GS220 (DJI)
 ■ GS110K, GS220K (クボタ)

最大積載量 ● GS110 : 1.2ha分

最大積載量 ● GS110K : 1.2ha分

開度	吐出量g/分	面積換算a/分	開度	吐出量g/分	面積換算a/分
25.0%	670	17	36.0%	1,096	27
26.0%	709	18	37.0%	1,135	28
27.0%	747	19	38.0%	1,174	29
28.0%	786	20	39.0%	1,212	30
29.0%	825	21	40.0%	1,251	31
30.0%	864	22	41.0%	1,290	32
31.0%	902	23	42.0%	1,329	33
32.0%	941	24	43.0%	1,367	34
33.0%	980	24	44.0%	1,406	35
34.0%	1,019	25	45.0%	1,445	36
35.0%	1,057	26	50.0%	1,524	38

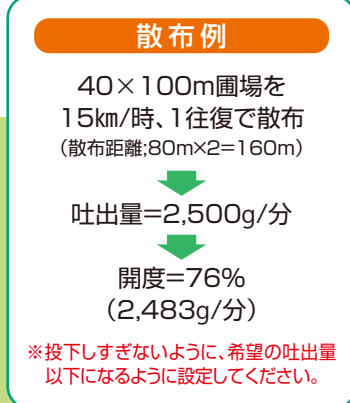


※インペラ回転数を600rpmに設定した場合

機 体 ; ■ AC101connect, AC102(NTTイードローン)
 散布装置 ; ■ AC101 P13(NTTイードローン)

最大積載量 ● AC101 : 1.4ha分

開度	吐出量g/分	面積換算a/分	開度	吐出量g/分	面積換算a/分
30%	1,070	26.8	60%	1,896	47.4
35%	1,181	29.5	65%	2,055	51.4
40%	1,299	32.5	70%	2,270	56.8
45%	1,426	35.7	75%	2,446	61.2
50%	1,560	39.0	80%	2,629	65.7
55%	1,702	42.6	85%	2,820	70.5



※インペラ回転数を「遅」に設定した場合

(P3の手順で吐出量を決め、それに合うシャッター開度を決めるのにご使用ください。)

機 体 ; ■YMR-08, YMR-II
 散布装置 ; ■GR1-10 (ヤマハ)

最大積載量 1ha分

□ 丸形ローラー：標準

ポリウム	吐出量g/分	面積換算a/分
25	420	10
30	457	11
35	493	12
40	530	13
45	567	14
50	604	15
55	640	16
60	677	17
65	714	18
70	751	19
75	788	20
80	824	21
85	861	22
90	898	22
95	935	23
100	971	24

□ ひし形ローラー：オプション

ポリウム	吐出量g/分	面積換算a/分
25	764	19
30	836	21
35	909	23
40	981	25
45	1,053	26
50	1,126	28
55	1,198	30
60	1,247	31
65	1,285	32
70	1,324	33
75	1,362	34
80	1,400	35
85	1,412	35
90	1,423	36
95	1,435	36
100	1,447	36

散布例

40×100m圃場を
 15km/時、2往復で散布
 (散布距離:80m×4=320m)

吐出量=1,250g/分

ポリウム=60
 (1,247g/分)

※投下すぎないように、希望の吐出量
 以下になるように設定してください。

※インペラを装着していない状態で測定した場合

機 体 ; ■ZionAC940, MMC940AC, ZionAC1500, MMC1500AC
 散布装置 ; ■ZIN700P, ZIN1400G, ZIN1400P (旧エンルート, 丸山)

最大積載量 ●ZIN700P : 70a分 ●ZIN1400G : 1.2ha分

□ ZIN700P, ZIN1400G

開度	吐出量g/分	面積換算a/分
3.6	481	12
3.7	519	13
3.8	556	14
3.9	593	15
4.0	630	16
4.1	667	17
4.2	704	18
4.3	741	19
4.4	778	19
4.5	815	20
4.6	852	21
4.7	889	22
4.8	926	23
4.9	963	24
5.0	1,000	25

散布例

40×100m圃場を
 15km/時、2.5往復で散布
 (散布距離:80m×5=400m)

吐出量=1,000g/分

開度=5.0
 (1,000g/分)

※投下すぎないように、希望の吐出量
 以下になるように設定してください。

※インペラを装着していない状態で測定した場合

エアー粒剤 散布事例

ドローン散布には、「**エアー粒剤**」がおすすめ!
その省力性は、オペレーター様からも認められています。

2019年 鹿児島県農業開発総合センター大隅支場 鹿児島県伊佐市
耕種概要：6/17 移植
6/19 マーシェットジャンボ処理
7/11 アルテア中後期エアー粒剤、1キロ粒剤処理
8/1 調査
圃場規模：エアー粒剤…28a(29×98m)
1キロ粒剤…31a(31×98m)
機種：MG-1K
設定/作業時間：右表
処理時雑草：発生なし
効果：両剤ともに雑草なし

オペレーター様のご感想

1キロ粒剤と比べて往復回数が少なく、
散布幅を気にする必要もないので
作業が楽だった。

	エアー粒剤	1キロ粒剤
飛行高度(m)	2	2
飛行速度(km/時)	10	15
シャッター開度(%)	35	20
インペラ回転数(rpm)	600	1,200
モード	M	M+
散布方法(往復回数)	1	3
作業時間*(分/圃場)	2.89	5.51
作業時間*(分/ha)	10.3	17.8
作業人数(人)	2	2

※薬剤投入などの準備作業含む

レプラスエアー粒剤の適用雑草と使用方法 † 本剤及び、それぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	使用方法	総使用回数 †
移植水稲	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草	移植後14日 ～ノビエ4葉期 ただし、 収穫60日前まで	400g/10a	湛水散布 湛水周縁散布 又は 無人航空機 による散布	本剤 1回 ジメタメリン剤 2回以内 ダイムロン剤 3回以内 (育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内) テフリルトリオン剤 2回以内 メタゾスルフロン剤 2回以内
直播水稲	一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ ウリカワ、ミズガヤツリ ヒルムシロ、セリ	稲1葉期 ～ノビエ4葉期 ただし、 収穫60日前まで			本剤 1回 ジメタメリン剤 2回以内 ダイムロン剤 2回以内 テフリルトリオン剤 2回以内 メタゾスルフロン剤 2回以内

*1:登録は花茎20cmまでですが、安定した効果のため10cmまでの使用をお勧めします。
*2:登録は草丈30cmまでですが、安定した効果のため10cmまでの使用をお勧めします。

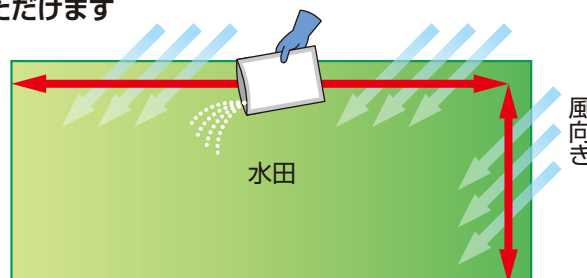
各種雑草の散布適期

雑草名	散布適期
ノビエ	4葉期まで
コナギ	6葉期まで
ホタルイ	花茎10cmまで*1
ウリカワ	3葉期まで
ミズガヤツリ	5葉期まで
ヘラオモダカ	4葉期まで
ヒルムシロ	発生盛期まで
セリ	再生期まで
オモダカ	矢尻葉3葉期まで
クログワイ	草丈30cmまで
コウキヤガラ	草丈10cmまで*2
シズイ	草丈10cmまで*2

湛水周縁散布でもご使用いただけます

風上側の畦畔2辺に撒くだけで、
除草ができます(周縁散布)。

※藻類・ウキクサ等のある場所への
散布は避けてください。



●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2025年3月現在の登録内容に基づいています。